

特別展

「跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー」

2023 年 3 月 9 日（木）～6 月 4 日（日）

このたび、京都市京セラ美術館において、特別展「跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー」を開催します。

地球環境への意識の高まりやテクノロジーの進化など、人間社会のあり方が大きく変化する現代は、新たな視点が求められる時代だからこそ、人間こそがなしうることの重要性が改めて問い直されています。



TAKT PROJECT 《glow ⇄ grow: globe》2019 年 Photo: Takumi Ota（参考作品）

本展では、企画・監修者にデザインを

軸としてリサーチと思索を重ねてきた川上典李子氏（武蔵野美術大学客員教授）を迎え、人間や地球の歴史を意識しながら、柔軟な発想でめざましい活動を展開する日本のアート、デザイン分野の気鋭の 20 作家（個人・チーム）を取り上げます。

1970 年代、1980 年代生まれを中心とした参加作家による新作や初公開作品を多数紹介する本展では、過去と未来、自然と人工、情報環境と実社会といったさまざまな関係性を軽やかにつないで再解釈する彼らの作品や活動から、世界が直面する激動の時代に求められる「創造へ向かう跳躍するエネルギー」が鮮やかに浮かび上がることでしょう。

主催：京都市、京都新聞、日本経済新聞社

企画：京都市京セラ美術館、川上典李子、米山佳子 監修：川上典李子

会期：2023 年 3 月 9 日（木）～6 月 4 日（日）

会場：京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ

開館時間：10:00～18:00（最終入場は 17:30）

休館日：月曜日（祝日の場合は開館）

料金：一般：1,800（1,600）円 大学・専門学校生：1,500（1,300）円 高校・中学生：1,100 円
（900 円）小学生：600 円（400 円） 未就学児無料

※（ ）内は前売、20 名以上の団体料金 ※京都市内に在住・通学の小中学生は無料 ※障害者手帳等ご提示の方は本人及び介護者 1 名無料（学生証、障害者手帳等確認できるものをご持参ください）

前売券発売日：2023 年 1 月 6 日（金）

美術館公式オンラインチケット、チケットぴあ、ローソンチケットほか主要プレイガイドなど

監修者メッセージ

人類の活動が地球に大きな影響を及ぼしている時代に入ったとして、ノーベル化学賞を受賞したパウル・クルツェンが提示した新たな時代区分「アントロポセン（人新世）」のことばをしばしば耳にするようになりました。ひとと自然との関係性を新たな視点で思考することはもちろん、変化のなかで立ちどまり、周囲に改めて目を向ける時間の重要性をこれまで以上に強く感じます。本展で紹介するのは、跳躍するかのように全身で世界の動きをとらえる気鋭の 20 作家（組）が放つ、現在形のメッセージです。彼らの視点や制作の姿勢をヒントに、どのような時代にあっても思索とともに次を探ってきたひとの創造の力を考えてみたいと思います。

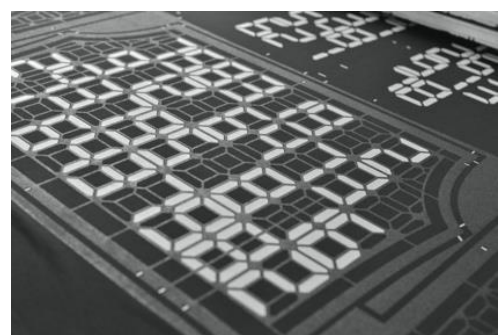
川上典李子（本展監修者）

デザイン誌「AXIS」編集室を経て 1994 年に独立、ジャーナリストとして活動を続け、2007 年から 21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクターとして展覧会企画にも関わる。同館以外では「現代日本のデザイン 100 選」（国際交流基金主催）共同キュレーター、パリ装飾美術館「Japon-Japonismes, Objets inspirés, 1867-2018」（2018 年）共同キュレーター、「London Design Biennale 2016」日本公式展示キュレトリアル・アドバイザー等を務める。武蔵野美術大学客員教授、多摩美術大学理事。



展覧会のセクション構成（予定）

1. ダイアログ：大地との対話からの始まり
2. インサイト：思索から生まれ出るもの
3. ラボラトリー：100 年前と 100 年後をつなぎ、問う
4. リサーチ&メッセージ：未来を探るつくり手の現在進行形



上段左/細尾真孝 + 平川紀道 + 巴山竜来《QUASICRYSTAL—コードによる織物の探求》2020-21 年 Photo: KOTARO TANAKA © HOSOO（参考作品）、上段中/岩崎貴宏《アウト・オブ・ディスオーダー（フレーム）》2018 年 作家蔵 © Takahiro Iwasaki, Courtesy of ANOMALY、上段右/目 [mé]《アクリルガス T-2M#16》2021 年 作家蔵、下段左/田村奈穂《フロート》2013-15 年 所蔵：WonderGlass © WonderGlass、下段中/津守秀憲《存在の痕跡》2018 年（参考作品）、下段右/A-POC ABLE ISSEY MIYAKE《TYPE-II Tatsuo Miyajima project》2022 年 © ISSEY MIYAKE INC.（参考作品）

本展のみどころ

1. 世界が感嘆！ 日本のものづくりが示す先見的な「サバイバルと創造」のヒント

日本の伝統をふまえながら、未来の生活のあり方を探る現代日本のクリエイターに世界の注目が集まっています。今、活発な動きを見せる、本展参加アーティストやデザイナーの活動形態は、アート、デザイン、ファッション、建築、映像など、ひとつの枠に収まりません。出展作品は、新作を多数含み、個人から、コレクティブ、異分野のメンバーとのプロジェクトまで、多岐にわたる制作過程から生まれました。作品の数々からは、激動期のサバイバル、未知の受容、未来に向けた創造などへの先見性を読み取ることができるでしょう。

2. 京都のものづくりのバトンをうけとる後継者たちが探る「100 年後」

歴史と伝統を継承しつつ、京都を拠点に革新的な活動を展開するチームにも目を向けます。細尾（1688 年創業）の細尾真孝、開化堂（1875 年創業）の八木隆裕を始め、6 社（細尾、公長齋小菅、中川木工芸、開化堂、金網つじ、朝日焼）の未来を担う 6 名で結成された「GO ON」です。彼らのテーマは「日常で使われる『もの』の命を 100 年先につなぐためにいま何をなすべきか」。個別にも、科学者・数学者らと共にものづくりの可能性を拓けようとする細尾のリサーチや、他のメンバーの取組みを紹介します。

3. 注目デザイナーのリサーチを新作や初公開のインスタレーションで紹介

綿密なリサーチを重ねて課題解決を図ることで世界の注目を集めるデザイナーの最新活動を紹介します。革新的な衣服づくりを提案する A-POC ABLE ISSEY MIYAKE のチームは、京都で受け継がれる技術を取り入れた最新コレクションを披露。また、TAKT PROJECT のリサーチに基づく本展のためのインスタレーションや、人工と自然の関係に着目した《glow ⇄ grow: globe》の会期中の変化も必見です。ニューヨークで活動する田村奈穂の静謐に包まれたインスタレーションも日本初公開です。

4. 展示デザインにも「跳躍する」才能が集結！

展示デザインを手がけるのは、数寄屋建築で著名な中村外二工務店での経験を生かし「現代における日本文化」をコンセプトに活動する建築家/美術家の佐野文彦。そして空間演出にはテクニカルディレクターとして展覧会や舞台で国際的に活躍する遠藤 豊、グラフィックには野間真吾が参画。今後の飛躍が期待されるクリエイターがタッグを組みます。佐野は参加作家として新作も発表します。

出品作家 20 名（組） ※50 音順

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 1. 石塚源太（美術家） | 5. GO ON（細尾真孝、八木隆裕、中川周土、松林豊斎、 |
| 2. 井上隆夫（アーティスト） | 辻 徹、小菅達之） |
| 3. 岩崎貴宏（アーティスト） | 6. 佐野文彦（建築家/美術家） |
| 4. A-POC ABLE ISSEY MIYAKE（宮前義之率いるエンジニアリングチーム） | 7. 高橋賢悟（美術家） |
| | 8. TAKT PROJECT（吉泉 聡を代表とするデザインスタジオ） |
| | 9. 田上真也（陶芸作家） |

- | | |
|---------------------|--|
| 10. 田村奈穂（デザイナー） | 17. 細尾真孝（クリエイティブ・ディレクター）+ 平川紀道（アーティスト）+ 巴山竜来（数学者） |
| 11. 津守秀憲（ガラス造形作家） | |
| 12. 中川周士（木工職人） | 18. 目 [mé]（荒神明香、南川憲二、増井宏文を中心に構成される現代アートチーム） |
| 13. 西中千人（ガラス造形作家） | |
| 14. 長谷川寛示（彫刻家） | 19. 八木隆裕（開化堂ディレクター）+ 石橋 素・柳澤知明（ライゾマティクス）+ 三田真一（クリエイティブ・ディレクター） |
| 15. 長谷川 絢（美術家） | |
| 16. 林 響太郎（映像監督/写真家） | 20. 横山隆平（写真家） |

関連プログラム

アフターコロナ時代に問う、「跳躍するつくり手たち展」

日時：2023 年 3 月 13 日（月）18:30～19:45

講師：川上典李子（本展監修者、武蔵野美術大学客員教授）

会場：佛教大学オープンラーニングセンター（O.L.C.）

京都市北区紫野北花ノ坊町 96 佛教大学紫野キャンパス 15 号館

京都市バス「千本北大路」下車 西へ徒歩 3 分

定員：対面 50 人（オンライン 200 人）※要事前申込み

料金：2,000 円（税込）※佛教大学 O.L.C.正会員は 1,000 円（税込）

申込：佛教大学オープンラーニングセンターのウェブサイト

（<https://www.bukkyo-u.ac.jp/olc/>）より申込み。

お問い合わせ：佛教大学 O.L.C.（075）366-5511（平日 10:00～17:00）

※申込みには佛教大学 O.L.C.の会員登録が必要です。 ※本プログラムは、京都市京セラ美術館特別展「跳躍するつくり手たち」との連携プログラムとして、佛教大学・京都新聞総合研究所の主催により開催されます。 ※この他本展では、ギャラリートークなど、さまざまな関連プログラムをご用意しています。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

展覧会カタログ

「跳躍するつくり手たち」

論考執筆：川上典李子（本展監修者）、福岡伸一（生物学者、青山学院大学教授）ほか

作品解説：川上典李子、および京都市京セラ美術館

言語：日本語・英語 価格：未定 デザイン：野間真吾

発行：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 美術出版デザインセンター

発売日：2023 年 3 月 9 日（予定）

【広報画像申請フォーム】

<https://forms.gle/LfUHU65GmLj1cuyq9> から必要事項を記入の上申請ください。即時ダウンロードリンクを発行します。

【本展のプレス問合せ先】

京都市京セラ美術館 広報 西谷・水野 pr@kyoto-museum.jp 電話：075-275-4271